



# 朝日

大田区立松仙小学校  
令和4年 9月30日(金)  
裏研究推進だより 第9号

## 体育話題提供授業 協議会記録

### 成果

#### ◎主運動につながる準備運動

・フープを使った準備運動◎音楽に合わせてテンポよく行うことで、リズムに合わせる感覚も味わえた。

#### ◎教師の効果的な声掛け

・児童を褒める、肯定する声かけが多かった。3人で動きを見付ける楽しさを感じられるような声かけ、児童の動きの工夫を広げる声かけなども効果的だった。

T:「面白いね!」、「どうやったら3人でできる?」、「協力して…」、「こうやってみたら?」など。

#### ◎団欒タイムの設定

・伝え合いながら、実際に動きをやる時間を十分に設けたのがよかった。また、団欒タイムで伝え合うことで、様々な動きが広がっていた

#### ◎まとめ⇒振り返りの流れ

・全体でまとめ⇒振り返りの流れにすることで、児童が視点をもって活動を振り返ることができていた。

#### ◎その他授業に関すること

- ・「島を探検して動きを見付ける」というテーマ設定は児童にとって意欲◎
- ・トリオの人数設定丁度良かった。

### 課題&疑問

#### ◎準備運動中の支援

・伸ばす部分や意識させたいところなどを声かけしながら行えるとよかった。

#### ◎動きの取り上げ方と教師の手立て

・取り上げた児童の動きが偏っていた。そのため児童の意識も一部の動きに偏ったように見えた。(一部の島が混んでいた)取り上げる動きの種類、体育館を広く使う声かけなどの工夫ができたか。

#### ◎伝え合いの仕方

・団欒タイムで、思ったよりも動きが広がらなかった。行った動きを伝え合う際に、動きに名前をつけておくと効果的だったか。ジェスチャー、ICTを使った伝え方も可能。

#### ◎振り返りの視点

・振り返りの視点がねらいとずれていた。活動の終わりに、児童がどのように学習を振り返るとよいのか、授業者としてのビジョンをもつことが必要であった。

#### <授業者自評>

- ・言葉だけでなく、動きながら伝え合っていく姿も大切にしたい。
- ・フープで価値付けたい動きを指導者が明確にしておくこと必要だと感じた。

### ☆「勉強になった!」ポイント☆

「多様な動きを見付ける・広げる」ためには、教師側が動きを取り上げることが効果的だと改めて学びました。実際にその場で動きをやって見せることができるのも、体育ならではのよさですね!(図工は説明や観察が主…)多様な動き(考え)が出る中で、教師側が視点を明確にしながら児童を価値づけていくことは、どの教科でも共通して大切なことだと感じました。

## 指導・講評

### <ここをおさえて！体づくり運動についての基礎知識>

- ・生涯にわたってスムーズに動ける体づくりを行うことが目的。
- ・体づくり運動は「技能」ではなく「運動」というキーワードを用いる。
- ・1人→2人→小グループ→全員の流れが基本的な1時間の流れ。
- ・他の運動領域では扱われにくい動きを取り上げる。
- ・活動の中に楽しさをちりばめるような教師の手立てが必要。
- ・学年ごとの動きの系統性を意識する。

→「多様な動きをつくる遊び」

1年生…多様な動きを経験する 2年生…経験した動きを広げる

「多様な動きをつくる運動」

3年生…できる動きを増やしたり組み合わせたりする

☆4年生…できる動きや基本的な動きを組み合わせた動きの質を高める

### ☆系統性を意識した動きの共有

動きを共有する時間は、動きのこつを児童から引き出して全体に広げる時間。途中、教師が児童の動きを取り上げていた。動きの共有化を図る意味で効果的であった。一方で、見合うタイムで転がした、フープの中にフープを通らせる動きは、教師側の捉えが難しいところ。2回目では、動きを見合うことを通して「どうやったらうまくなるか。」という視点で見合った方がよかった。4年生では、動きの広がりだけでなく、**動きの洗練に向けた意識**で動きを見合うことが大切。

### ☆多様な動きの中に、身に付けさせたい動きを…

フープという用具の特性を生かして、できる動きを予測しておくことが大切。児童の動きがどの動きを組み合わせているかという視点で教師側が見取ることも大切。多様な動きの中にも、児童に経験させたい、身に付けさせたい動きを教師側が考えておく必要がある。

### キラリと光る付箋

#### <言葉掛けについて>

- ・塚原先生が盛大に拍手したり褒めたりする。これでやる気もアップしていた。
- ・教師の言葉掛けの後に工夫して運動に取り組む姿が見られた。

#### <見付けタイムについて>

- ・伝えようとする場になっていた。「話型」が生きるように、動きの名があるとより良いと思えた。
- ・見合う場の設定があり、そこから真似する児童が増えた。様々な視点があると広がったのかも。

#### <回らんタイムについて>

- ・家族チームの必要性について。メリット：伝え合いの必然性。知らない動きに触れられる。デメリット：難しい動きは紹介されてもできない。
- ・回らんタイムで技を褒められることで、自信やモチベーションにつながる。

#### <振り返りについて>

- ・ワークシートの振り返りについて、何を書けばよいかははっきりしていたのか疑問に思った。

児童に基本的な動きを身に付けさせるための「体づくり運動」。そのために様々な動きを経験させるための手立てがきちんと立てられていて、とても勉強になった。一方で、本当に運動が苦手な児童がはたして経験だけで基本的な動きが身に付くことになるのだろうか？協議会での先生方の話を聞き、ほかにも手立てを考えてく必要があるのではないかと改めて考えさせられた。